

デジタル社会における学び方と学びの場 —オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

開催地：茨城

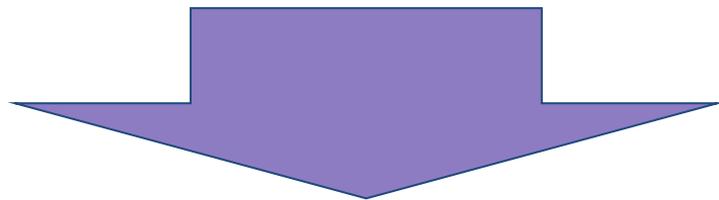
グループ： 2班

2022.10.15

# これからの情報社会

# 理由

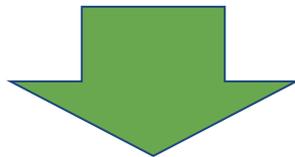
- ・ オンライン上で周りの子の反応が分からない
- ・ 発言するのに**抵抗**



- ・ オンラインとリアルでの**空気感の同一化**
- ・ 普段と同じ**安心感**

# 理想[五感のあるネット空間]

- 相手との繋がりが、画面と音声しかない。
- 三次元的な空間が欲しい
- 五感があると**リアリティー**が増す。
- 教室のような空間があると**空気感**がでる



**五感のあるネット空間が欲しい！！！！**

# 理想[五感のあるネット空間]

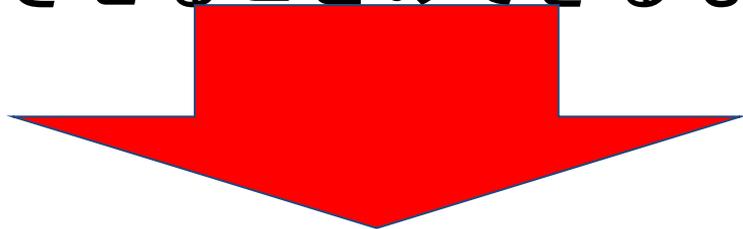
- 相手との繋がりが、画面と音声しかない。
- 三次元的な空間が欲しい
- 五感があると**リアリティー**が増す。
- 教室のような空間があると**空気感**がでる



**五感のあるネット空間が欲しい！！！！**

# 必要な技術

現在のVRに次ぐ自分の五感をそのままネットにダイブさせることのできるもの



脳の耐えうる範囲で信号を送って  
バーチャルの世界に転送できるもの

# 今とこれからの情報社会

いま

- ・ 経済格差が激しい
- ・ 回線安定感が**ない**
- ・ 災害対策が不十分

これから

- 国からの今以上の**援助**
- 回線の**強さの統一**
- 災害対策の**強化**

# 結論

リアルとの  
ギャップをなくす

ご清聴ありがとうございました